

人工関節手術通算5000例記念式典と記念植樹

当院では1973年に西日本では先陣をきって、第1例目の人工関節の手術がなされて以来、人工関節手術に力を入れてきましたが、今年3月7日に通算でついに5000例目に達しました。一つの病院でこれだけ多くの人工関節手術は全国でもほとんどないと思われます。

人工関節手術は、変形性関節症や関節リウマチなどで破壊された関節を人工の関節に置き換える手術で、疼痛の消失、変形の矯正が可能で画期的手術になってきています。近年では人口の高齢化に伴い、この手術の増加が著しく、当院では年間400例以上を行っております。2005年10月の「玉造人工関節センター」の開設により、さらに充実した人工関節手術、リハビリを行っています。

5000例記念式典は、2006年4月12日に病院のロビーで行われました。3月7日に人工関節手術を受けられた方が4名ありましたので、この4名様に花束と記念品を贈呈し、上尾豊二院長および患者さま代表の挨拶もありました。その後、記念写真撮影、また、NHKや山陰中央新報の取材もあり、華やかなうちに終了いたしました。また、6月14日には記念植樹として、モクレンを玄関先の庭に植えました。モクレンの花言葉は、「持続性」だそうです。5000例を一つの通過点とし、今後もさらに継続して、実績・経験を積み重ね、最善の治療を目指したいと考えております。

(人工関節センター長 小谷 博信)



表紙の写真

コーヒーの木です。数年前100円で苗木を買いました。買った当時は葉が2枚しか無かったのですが、現在70cm位にまで成長しました。今年初めて花が咲きました。花の香りは結構強いです。花は白い色をしており、ジャスミンに似た香りがします。室温を15度以上に保てば、冬場でも大丈夫です。花言葉は「一緒に休みましょうか」。実が収穫出来るまでの期間は4～5年で、以後20年間は、コーヒーの実が収穫出来るそうです。赤くなった実は、「コーヒーチェリー」と呼ばれその実の中にコーヒー豆が2つ入っており、そのコーヒー豆を焙煎してドリップしてコーヒーが出来るのです。これから暑い夏に向います。少し休みながら、アイスコーヒーでも飲んで、夏を乗り切りましょう。(F.S)

編集後記

先日、大リーグシアトルマリナーズのイチロー選手の義姉である福島敦子氏の講演を聞く機会がありました。その中で「彼は決して天才ではなく、才能のある人である。野球を始めて以来、片時も努力を惜しまず今日までやってきた。一日も休まず努力を重ねてきたことが今日のイチローを築き上げている。」という一節がありました。彼に限らず、偉業を成し遂げた人たちは皆、一日一日の努力を積み重ねた人たちなんですよね。

当院も歴史を積み重ねてきた病院です。我々スタッフ一同が努力を積み重ね、今後も地域の皆様のお役に立てる病院であり続けたいと思っています。(H.Y)

■ 編集・発行責任者 上尾 豊二

〒699-0293 島根県松江市玉湯町湯町1-2

TEL 0852 (62) 1560

<http://tamahosp.jp>

夕映えのバックナンバーはホームページでもご覧になれます。